

令和3年3月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和2年11月13日

上場会社名 アザース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9276 URL <http://www.az-earth.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 中川 周平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 稲葉 修一 (TEL) 089 (989) 3916
 中間発行者情報提出予定日 令和2年12月28日
 配当支払開始予定日 —
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
 中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年3月期中間期の業績 (令和2年4月1日～令和2年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期中間期	78	△20.9	2	△32.1	5	53.2	3	55.1
2年3月期中間期	99	0.4	3	111.7	3	—	2	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期中間期	14.45	—
2年3月期中間期	9.32	—

(注1) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式がないため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年3月期中間期	204	60	29.8
2年3月期	137	57	41.6

(参考) 自己資本 3年3月期中間期 60百万円 2年3月期 57百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期	0.00	0.00	0.00
3年3月期	0.00		
3年3月期(予想)		0.00	0.00

3. 令和3年3月期の業績予想 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	162	△16.4	4	23.6	8	73.2	4	33

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

3年3月期中間期	257,000株	2年3月期	257,000株
3年3月期中間期	—株	2年3月期	—株
3年3月期中間期	257,000株	2年3月期中間期	257,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用	3
(2) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	7
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(持分法損益等)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当中間会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の流行が収束しないなか、経済活動については緩やかに持ち直す動きがあるものの依然として厳しい状況が継続しています。

外食産業におきましては、経済活動の再開が段階的に進められているものの不確実性は大きく、先行きは不透明な状態となっております。

このような経営環境下で当社では、従業員の出勤前検温の実施、手洗い・手指消毒の励行、マスクを着用するなど、従業員の健康維持につとめるとともに、既存メニューの品質改善に継続して取り組み、生産性の維持・向上をはかりました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は78,819千円（前年同期比20.9%減少）、営業利益は2,262千円（前年同期比32.1%減少）、経常利益は5,057千円（前年同期比53.2%増加）、中間純利益は3,714千円（前年同期比55.1%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間会計期間末における流動資産の残高は、129,797千円（前事業年度末は、61,193千円）となり68,603千円増加しました。現金及び預金が69,779千円増加したことが主な要因であります。

(固定資産)

当中間会計期間末における固定資産の残高は、74,548千円（前事業年度末は、75,903千円）となり1,355千円減少しました。有形固定資産が2,049千円減少したことが主な要因であります。

(流動負債)

当中間会計期間末における流動負債の残高は、41,703千円（前事業年度末は、30,935千円）となり10,768千円増加しました。1年内返済予定の長期借入金が11,428千円増加したことが主な要因であります。

(固定負債)

当中間会計期間末における固定負債の残高は、101,839千円（前事業年度末は、49,073千円）となり52,766千円増加しました。長期借入金が51,597千円、加盟店預り保証金1,000千円が増加したことが主な要因であります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産の残高は、60,802千円（前事業年度末は、57,088千円）となり3,714千円増加しました。当中間会計期間の中間純利益を3,714千円計上したことが主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して537千円増加し、122,398千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は7,617千円（前年同中間期は5,953千円の獲得）となりました。これは主に税引前中間純利益5,057千円の計上や減価償却費2,313千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は863千円（前年同中間期は1,299千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出288千円や保険積立金の積立てによる支出634千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は63,025千円（前年同中間期は4,116千円の使用）となりました。これは長期借入金の収入70,000千円と長期借入金の返済による支出6,975千円によるものであります。

（3）業績予想に関する定性的情報

令和3年3月期の通期の業績予想につきましては、令和2年10月30日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年3月31日)	当中間会計期間 (令和2年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,619	122,398
売掛金	5,337	4,853
商品	107	103
原材料及び貯蔵品	2,595	1,610
前渡金	356	30
前払費用	397	535
その他	—	486
貸倒引当金	△220	△220
流動資産合計	61,193	129,797
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	35,524	34,280
構築物（純額）	4,440	4,130
機械及び装置（純額）	551	482
車両運搬具（純額）	1,896	1,580
工具、器具及び備品（純額）	1,469	1,359
土地	22,428	22,428
有形固定資産合計	66,311	64,262
無形固定資産		
ソフトウェア	157	122
無形固定資産合計	157	122
投資その他の資産		
長期前払費用	184	129
繰延税金資産	716	865
その他	8,533	9,168
投資その他の資産合計	9,434	10,163
固定資産合計	75,903	74,548
資産合計	137,097	204,345

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年3月31日)	当中間会計期間 (令和2年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,753	5,594
1年内返済予定の長期借入金	8,232	19,660
未払金	3,117	2,576
未払費用	4,259	4,135
未払法人税等	541	1,491
加盟店売上預り金	6,199	5,924
その他	3,832	2,321
流動負債合計	30,935	41,703
固定負債		
長期借入金	44,316	95,913
退職給付引当金	1,821	1,990
加盟店預り保証金	2,000	3,000
その他	936	936
固定負債合計	49,073	101,839
負債合計	80,008	143,542

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年3月31日)	当中間会計期間 (令和2年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,959	14,959
資本剰余金		
資本準備金	4,959	4,959
資本剰余金合計	4,959	4,959
利益剰余金		
利益準備金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	37,170	40,884
利益剰余金合計	37,170	40,884
株主資本合計	57,088	60,802
純資産合計	57,088	60,802
負債純資産合計	137,097	204,345

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)	当中間会計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)
売上高	99,694	78,819
売上原価		
商品・原材料期首たな卸高	1,000	838
当期商品・原材料仕入高	33,864	26,239
合計	34,865	27,077
商品・原材料期末たな卸高	991	750
売上原価合計	33,873	26,326
売上総利益	65,820	52,493
販売費及び一般管理費	62,486	50,230
営業利益	3,333	2,262
営業外収益		
受取利息	0	0
給付金収入	—	2,000
賃貸収入	—	1,872
保険解約返戻金	70	—
その他	98	277
営業外収益合計	169	4,149
営業外費用		
支払利息	139	91
為替差損	62	9
賃貸費用	—	1,246
その他	0	7
営業外費用合計	202	1,355
経常利益	3,301	5,057
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税引前中間純利益	3,301	5,057
法人税、住民税及び事業税	956	1,491
法人税等調整額	△50	△148
法人税等合計	906	1,342
中間純利益	2,394	3,714

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)	当中間会計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	3,301	5,057
減価償却費	2,771	2,313
受取利息及び受取配当金	△0	△0
給付金収入	—	△2,000
支払利息	139	91
保険解約返戻金	△70	—
固定資産除却損	0	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△184	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	329	169
売上債権の増減額(△は増加)	1,061	483
たな卸資産の増減額(△は増加)	△24	989
仕入債務の増減額(△は減少)	△650	1,167
加盟店売上預り金の増減額(△は減少)	233	△274
加盟店預り保証金の増減額(△は減少)	—	1,000
その他	122	△2,659
小計	7,026	6,336
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△139	△177
法人税等の支払額	△934	△541
給付金の受取額	—	2,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,953	7,617
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△796	△228
保険積立金の積立てによる支出	△716	△634
保険積立金の解約による収入	213	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,299	△863
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	70,000
長期借入金の返済による支出	△4,116	△6,975
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,116	63,025
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	537	69,779
現金及び現金同等物の期首残高	50,865	52,619
現金及び現金同等物の中間期末残高	51,403	122,398

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は、事業ごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社は「直営店事業」及び「FC事業」の2つを報告セグメントとしております。

セグメント区分	主要業務
直営店事業	ラーメン・つけ麺を中心とした飲食店の運営、製麺の販売、イベントへの参加
FC事業	国内外のFC店へのロイヤリティ・原材料、及び備品の販売

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前中間会計期間（自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間財務諸表 計上額 (注) 2
	直営店事業	FC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	74,965	24,729	99,694	—	99,694
計	74,965	24,729	99,694	—	99,694
セグメント利益	14,800	9,895	24,696	△21,362	3,333
セグメント資産	76,064	7,807	83,872	53,800	137,672
セグメント負債	3,541	7,370	10,911	70,833	81,745
その他項目					
減価償却費	2,261	—	2,261	509	2,771
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,528	—	1,528	—	1,528

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△21,362千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額53,800千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社の現金及び預金であります。
 - (3) セグメント負債の調整額70,833千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の長期借入金であります。
2. セグメント利益は、中間財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当中間会計期間（自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間財務諸表 計上額 (注) 2
	直営店事業	F C 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,980	23,839	78,819	—	78,819
計	54,980	23,839	78,819	—	78,819
セグメント利益	12,874	9,954	22,829	△20,566	2,262
セグメント資産	24,776	13,605	38,382	165,963	204,345
セグメント負債	2,660	12,224	14,884	128,658	143,542
その他項目					
減価償却費	1,051	—	1,051	1,261	2,313
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	228	—	228	—	228

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△20,566千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額165,963千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社の現金及び預金、賃貸不動産であります。なお、前事業年度における八平玉川店の事業譲渡に伴い、当中間会計期間において直営店舗事業の資産を賃貸資産として調整額に振替えております。
 - (3) セグメント負債の調整額128,658千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の長期借入金であります。
2. セグメント利益は、中間財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。